

(一社) 全関西大学女子バスケットボール連盟
2025年度 第3回 理事会 会議録

1. 日時 : 2025年7月24日(木) 19:00~
2. 場所 : zoomによるオンライン形式
3. 出席理事数 理事総数25名中18名
野老 稔、丸岡信吾、三島隆章、坂井和明、西川幸穂、古本ルミ、佐藤亜紀子、畑岸邦枝、永田康一、柳生志乃、房本浩希、今西正泰、山中博史、村上なおみ、玉井里英、白井徹、石橋 将広、市谷浩一郎
4. 出席監事数 総数 2 名中 2 名
宮武庸介 山本 孝
5. 出席学生委員
上野なつな、深井愛子、藤浪真子、川上愛乃、高野美佐子、小林愛梨、高田鈴、阪田琴音、内藤優衣、稲垣遥、魚住帆香、野村雪乃、小山田璃々、戸佐間楓乃、野村雪乃、小田かほり
6. 書記 : 川上愛乃学生委員

- ・古本総務部長より、理事会の定足数について、理事25名中18名が出席しており、理事会は成立していることが報告され、野老会長を議長として議事が開始された。
- ・最初に、2025年度社員総会(定時)および第2回理事会議事録確認が行われ、第3回理事会の議事録署名人として、佐藤理事、柳生理事を指名した。

1. 審議事項

1. 2025年度全関西大学女子バスケットボール新人戦および新人インカレについて
上野学生副委員長より、資料を基に、各部の反省・検討事項などについて報告があった。続いて、坂井専務理事より、新人インカレに関して、関西からは4校が出場したこと、来年は松山で実施される予定であることなどが報告された。また、西川運営管理本部長から、パンフレット増刷に関わる顛末について、資料を基に、経緯や詳細について説明があった。
審議のなかで、オンザコート様のご厚意により、オンザコート様主催の大会と同じ場所で開催できたことはありがたいことである、その一方、この大会が全国に繋がる予選大会的な位置を占めることから、来年度以降、学連としてどう考えていくか検討する必要があるという意見があった。
2. 2025年度西日本学生バスケットボール選手権大会について(振り返り)
上野学生副委員長より、資料を基に、各部の振り返りについて報告があった。柳生理事

より審判部の補足として、Asueアリーナ大阪で合計6面の試合の際に、審判員12名と次の試合の審判員と合わせると最大24名の時があったが、審判控室が手狭でありそのような場合は、控室の大きさを調整する必要があると指摘があった。

続いて、坂井専務理事より、次年度の体育館の見通しとして、来年もエディオンアリーナの改修工事は続くことが予想されるため、Asueアリーナ大阪も工事予定があるが、現時点では来年度も使用できる見通しなので、Asueアリーナ大阪での開催となる可能性が高いことが説明された。また、参加チーム数、工事見通し、体育館使用料の高騰などを踏まえて2027年度以降の大会をどうしていくか男女で検討する必要があると、今年度の作業スケジュールを確認し、2026年度はどのようなスケジュールで動けるか、さらに2027年度以降はどうしていくかについて、調整を行っていきたいと説明が加えられた。

その他、意見として、参加校数減少での実施をどうするか考えていく必要があるとし、チーム数や費用なども含めて来年度はAsueアリーナ大阪の予定であるが、再来年はエディオンアリーナに戻すことを考えると、よく検討して準備を進める必要があること、また大会参加校を増やす取り組みや、どの規模で実施にするかなども検討する必要があると、指摘があった。

3. リーグ戦の準備状況について

上野学生副委員長より、リーグ戦の準備状況について説明があった。続いて、1部最終日の体育館の見通しを含む体育館確保の状況について、村上競技部長より、3.4部の試合会場がなく、2部と同会場での実施ができるよう調整を行っていること、1部最終日について、ラクタブの使用時間が限られており、閉会式までの実施時間が確保できないが、今後のラクタブ使用のことを考えるとキャンセルしないようにして、入れ替え戦等での使用を考えている、と説明があった。

意見として、体育館確保に関する資料を作成し理事にも協力をお願いすればいいのではないか、との指摘があった。

また、坂井専務理事より、嶋崎審判部長より9月13.14.15日の3日間で、審判審査会を実施するとの報告があったと説明がされた。

4. 広告協賛企業の獲得と拡大に向けた取り組みについて

畑岸広報渉外部長より、広告協賛が新規で2社いただいております、これから手続きなど、リーグ戦に間に合うように進めていきたいとの説明があった。

5. 加盟校減少対策プロジェクトからの提案について

永田理事より、資料を基に説明があり、今年度は3月に交流戦を実施したいという提案があった。また、玉井理事より、5つの大学から大阪の社会人連盟に加盟したいと申し出があったが、関西女子学連に加盟するように誘導していただいたと聞いたが、社会人連盟は加盟の仕組み緩やかで、年間会費は5万円で10ゲームできる保証があり、そちらに流れる可能性があるため、二府四県の協会や連盟にも関西女子学連に加盟してもらえるように

取り組みたいとの提案があった。

意見として、去年は秋に実施したが今年度は3月に実施を予定している件で、この理事会で承認するかについて質問があり、実際に可能かどうかの検証、会場や経費の見通しなどを踏まえて、次回以降の理事会にて決議事項とし対応をしていくこととなった。

II. 決議事項

1. リーグ戦参加費の見直しについて（常任理事会追認）

西川運営管理本部長より、リーグ戦参加費について、3.4部の参加費は前年まで同額であったが、試合数と参加校数拡大の観点から、3部はこれまで通り、4部に関して2万円減額の対応を行い、広告負担金に関しては、広告にサイズを小さくし1万円減額の対応を行うことについて、すでに常任理事会の審議を経て進めているが、理事会において決議したいとの提案があった。合わせて、リーグ戦から新規に加盟する場合に今年度限りの特別措置として、運営協力費を減額する措置をとることについても提案があり、2件合わせて採決を取り、特に意見なく、承認された。

2. リーグ戦1部の対戦方式について

村上競技部長より、資料にもとづき、インカレの出場枠について、まだ発表されていないこと、例年5枠であるが4枠の可能性があるため、その場合、1部の2巡目の設定の調整が必要になり、対戦方法の検討を行ったとの説明があり、枠数に関係なく上4、下6としたうえで、仮に4枠となった場合には、4位のチームと5位のチームとの間で出場枠を争う対戦を行う方式を決めておきたいとの提案があった。採決の結果、特に意見なく、承認された。

III. 報告事項

1. 豊中市バスケットボールフェスタの準備状況について

柳生理事より、資料を基に説明があり、今年は大阪体育大学に協力していただき実施すると報告された。

2. 日学評議員会（6/28）、インカレ検討委員会（7/7）報告について

坂井専務理事より、上記会議等にて、参加チーム数を増やすことができないか、インカレを地区予選と本戦との2段階に分けてできないかということなどについて、様々な角度から検討されていることが、説明された。

3. 理事会等の理事・監事交通費について

今西財務部長より、資料を基に、理事・監事の交通費のルールを決めていく必要があり、資料のとおり、理事・監事交通費の支給対象などを定めたことが説明された。

4. 役員改選に伴う諸手続きの進行状況について

今西財務部長より、資料を基に、役員改選を受けた登記等の手続きの進行状況と課題について説明があり、今後の教訓としていくこととした。

5. 役員改選後の関係団体、協賛企業等へのご報告について

古本総務部長より、改選後の新体制報告について、各関係機関、各地方学連、近畿府県の各協会、協賛いただいている企業には、すでにお知らせをしており、ミズノ株式会社や三恵海運に関しては会長、専務理事に訪問していただく予定であると報告があった。

6. 2025年7月以降の学生委員会体制・新学生委員紹介

上野学生副委員長より、資料を基に学生委員の体制について異動した学生、新しく加わった学生の説明・紹介があった。

7. その他

(1)学連事務所の使用ルールと管理について

古本総務部長より、関西女子学連の事務所使用ルールについて資料を基に説明があった。また、メールへのログインについてもセキュリティ確保の観点から、パスワードの変更を行ったことが報告された。

(2)24秒計の購入について

村上競技部長より、新ルールに対応する24秒計の購入は、大会運営上、不可欠であるということで優先的に対応が必要と、見積書などに基づき報告があり、必要備品として購入していくことを確認した。

(3)その他

丸岡副会長より、永田理事から説明があった大学生から社会人連盟へ加盟したいと申し出があった件について、大学でもバスケットボールを続けたいが、大学からの援助がないと厳しい状況であることと社会人連盟に所属している先輩から勧誘を受け、社会人連盟でバスケットボールを行う人が多いのではないかとの指摘があった。

以上をもって、議長が理事会の閉会を宣し、古本総務部長より、次回理事会について説明があり、丸岡副会長から閉会挨拶があり、閉会した。

*次回予定 11月中下旬（オンライン）の月曜日

(以上)